

近畿運輸局長 堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点見学

1. 日時 平成29年8月29日（火） 10時30分～12時00分
2. 概要 近畿地方整備局は、近畿運輸局と災害時における物資の輸送拠点整備や輸配送体系の課題に対応するため協議会を立ち上げるなど、支援活動の実施に向けて様々な連携を図っています。
このたび、平成29年7月7日付で坂野公治局長が着任され、管内視察の折、当センターにお越しになり、防災拠点構成する「近畿圏臨海防災センター」「緑地」「耐震強化岸壁」「臨港道路」の概要説明を受け各施設を視察されました。



支援施設棟会議室での説明



支援施設棟屋上から防災拠点を確認



支援支援棟の海水淡水化装置を見学



車庫棟で資機材を確認



外部倉庫棟で資機材を確認



緑地を確認

関東地方整備局との意見交換会の開催

1. 日時 平成29年8月25日（金） 9時45分～12時00分
 2. 概要 近畿地方整備局港湾空港防災危機管理課並びに近畿圏臨海防災センターは、8月24日と25日の両日、関東地方整備局と日々の業務を進めていく上での課題について話し合う意見交換会を開催しました。
 3. 内容 8月24日神戸局での主な議題：
 - 「包括協定（※1）への取り組みについて」
 - 「TEC-FORCE（※2）の運用について」
 - 「首都圏臨海防災センターの施設及び業務の概要について」

（※1 大規模な災害が発生した際に行う港湾施設等の被害の拡大を防止する活動や早期に復旧させる活動を円滑に進めるための協定）

（※2 大規模な災害により被災した自治体で、被災状況の把握や被害の拡大防止、被災地の早期復旧のため技術的な支援を行う活動）
- 8月25日近畿圏臨海防災センターでの主な議題：
「防災センター宿直者への災害対応教育及び訓練について」
「11月5日の『津波防災の日』に開催している大規模防災訓練について」
「近畿圏臨海防災センターの施設及び業務の概要（施設見学含む）」
「運輸局との災害支援活動における協力体制について」
- 臨海防災センター等で構成される基幹的広域防災拠点、首都圏と近畿圏に2箇所が整備されています。
今後も基幹的広域防災拠点を管轄する両地整間で情報共有を図り、私たちの災害対応能力がより一層向上するよう取り組んでいきます。



支援施設棟会議室での意見交換



支援施設棟屋上から防災拠点を視察



外部倉庫棟で資機材を確認

平成29年度 堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点見学

1. 日時 平成29年8月15日（火） 13時30分～15時00分
2. 見学者 震災復興交流サッカー・ネパール代表チーム 33名
3. 概要 ネパール代表チーム招へいは、外務省の日中植林・植樹国際連帯事業による日中青少年等交流事業の一環として、公益財団法人日本サッカー協会の協力のもと行われたものです。この事業は、平成27年4月に大地震を経験したネパールからサッカー代表チームを招へいし、環境・防災意識の啓発を図るとともに、スポーツ交流を通して両国の相互理解を促進することを目的としています。
一行は、日本の環境及び防災分野における取組への理解を深めるため、阪神大震災を経験した大阪府・兵庫県を訪問するなかで近畿圏臨海防災センターを訪れ、防災拠点の施設概要や実施する災害支援活動を学びました。そのほか、8月16日（水）には震災復興交流の記念植樹を、8月19日（土）には兵庫県三木市にある三木総合防災公園陸上競技場においてヴィッセル神戸U-18チームと「震災復興祈念試合」を行いました。



支援施設棟会議室での説明



支援施設棟屋上から防災拠点を視察



外部倉庫棟で資機材を確認



2017年度課題別研修「インフラ(河川・道路・港湾)における災害対策A」コース

1. 日 時 平成29年8月14日(月) 14時30分～16時30分
2. 見学者 カンボジア、チリ、メキシコ、ミャンマー、ネパール、サモアでインフラ管理に携わる技術者 8名
3. 目 的 この研修は独立行政法人国際協力機構(JICA)が開発途上国への技術協力として行う研修員受入事業の一つとして行われるものです。日本の自然災害事例を通じ、災害に強いインフラ開発を学び、研修員が対応策などを所属する組織に提案することを目指します。近畿圏臨海防災センターでは日本国内における災害事例並びに防災拠点の施設概要や実施する災害支援活動について講義が行われました。



支援施設棟会議室での講義



支援施設棟屋上から防災拠点を視察



支援支援棟の海水淡水化装置を見学



外部倉庫棟で資機材を確認